



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月8日

上場取引所 東大

上場会社名 テイカ株式会社

コード番号 4027 URL <http://www.tayca.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 清野 學

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 山崎 博史

TEL 06-6208-6404

四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	17,662	△0.1	1,668	△15.8	1,682	△14.4	1,012	△11.2
24年3月期第2四半期	17,687	11.6	1,982	31.7	1,966	33.2	1,139	33.1

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 876百万円 (△0.0%) 24年3月期第2四半期 876百万円 (65.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	20.39	—
24年3月期第2四半期	22.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	39,790	26,343	66.0	528.89
24年3月期	40,970	25,765	62.7	517.32

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 26,251百万円 24年3月期 25,676百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	4.4	2,900	△16.3	2,800	△18.0	1,600	△8.0	32.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	51,428,828 株	24年3月期	51,428,828 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	1,794,679 株	24年3月期	1,794,103 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	49,634,617 株	24年3月期2Q	49,639,697 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第 2 四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第 2 四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の復興需要を背景に緩やかな回復の動きが見られたものの、欧州債務危機に伴う世界経済の減速、長期化する円高などを背景に、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは事業環境や顧客ニーズの変化に対応した積極的な販売活動の展開に努めましたが、本格的な製品需要の回復には至らず、またチタン鉱石価格の高騰に伴う製造コストの上昇等もあり、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は176億6千2百万円（前年同期比0.1%減）、営業利益は16億6千8百万円（前年同期比15.8%減）、経常利益は16億8千2百万円（前年同期比14.4%減）、四半期純利益は10億1千2百万円（前年同期比11.2%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメント別の概況は次のとおりであります。（添付資料の9ページ「セグメント情報」をご参照ください）

酸化チタン関連事業

汎用用途の酸化チタンは、国内はインキ・塗料向け等の販売が堅調に推移、輸出もアジア市場を中心に前期並みを維持し、売上高は前期を上回りました。

機能性用途の微粒子酸化チタンは、輸出が欧州経済の悪化や円高の影響を受け減少したことにより、売上高は前期を下回りました。表面处理製品は、化粧品向けの拡販に努めたこと等により、売上高は前期を上回りました。

以上の結果、当事業の売上高は107億2千6百万円（前年同期比4.3%増）となりました。

その他事業

界面活性剤は、主用途の洗剤等日用品向けが順調に推移し、売上高は前期並みを維持いたしました。海外の連結子会社の販売は堅調に推移いたしました。

硫酸は販売数量、売上高ともに前期並を維持いたしました。

無公害防錆顔料は、国内の販売は好調に推移しましたが、輸出が円高の影響を受け減少し、売上高は前期を下回りました。

導電性高分子酸化重合剤は中国品の攻勢による販売価格の下落により、売上高は前期を大きく下回りました。

倉庫業は荷扱量が減少したことにより、売上高は前期を下回りました。

エレクトロ・セラミックス製品は医療用向けの販売が順調に推移し、売上高は前期を上回りました。

以上の結果、当事業の売上高は69億3千5百万円（前年同期比6.3%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産総額は、397億9千万円（前連結会計年度末比11億8千万円減少）となりました。増減の主なものは、たな卸資産が18億2千4百万円増加、現金及び預金が25億5千7百万円減少したものであります。

負債合計は、134億4千6百万円（前連結会計年度末比17億5千8百万円減少）となりました。増減の主なものは、支払手形及び買掛金が11億4千1百万円減少したものであります。

純資産合計は、263億4千3百万円（前連結会計年度末比5億7千8百万円増加）となりました。増減の主なものは、四半期純利益による利益剰余金が7億1千4百万円増加したものであります。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、営業活動によるキャッシュ・フローが12億7千9百万円の支出（前年同期比32億5千7百万円支出額の増加）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益15億9千9百万円がありましたが、たな卸資産が18億2千1百万円増加、仕入債務が11億4千7百万円減少したものであります。投資活動によるキャッシュ・フローが9億9千7百万円の支出（前年同期比8千万円支出額の増加）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出9億3千7百万円によるものであります。財務活動によるキャッシュ・フローが2億8千3百万円の支出（前年同期比7億1百万円支出額の減少）となりました。この結果、現金及び現金同等物の第2四半期連結会計期間末残高は28億5千4百万円（前連結会計年度末比25億5千7百万円減少）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年5月11日に公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1 四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2 四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成24年 9 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,491	2,933
受取手形及び売掛金	11,157	11,204
商品及び製品	5,127	5,822
仕掛品	524	389
原材料及び貯蔵品	2,349	3,614
その他	573	452
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	25,221	24,414
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,170	4,153
機械装置及び運搬具（純額）	3,728	3,908
その他（純額）	2,181	1,919
有形固定資産合計	10,080	9,981
無形固定資産		
	195	165
投資その他の資産		
投資有価証券	4,624	4,378
その他	871	876
貸倒引当金	△23	△26
投資その他の資産合計	5,472	5,228
固定資産合計	15,748	15,375
資産合計	40,970	39,790

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,808	3,666
短期借入金	1,868	2,596
未払法人税等	764	514
賞与引当金	374	344
その他	2,142	1,903
流動負債合計	9,958	9,024
固定負債		
長期借入金	2,586	1,886
退職給付引当金	2,557	2,507
その他	102	28
固定負債合計	5,247	4,422
負債合計	15,205	13,446
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,855	9,855
資本剰余金	6,766	6,766
利益剰余金	8,367	9,081
自己株式	△539	△539
株主資本合計	24,450	25,165
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,333	1,182
為替換算調整勘定	△107	△96
その他の包括利益累計額合計	1,226	1,086
少数株主持分	88	92
純資産合計	25,765	26,343
負債純資産合計	40,970	39,790

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	17,687	17,662
売上原価	13,299	13,621
売上総利益	4,387	4,040
販売費及び一般管理費	2,405	2,372
営業利益	1,982	1,668
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	59	54
その他	7	27
営業外収益合計	68	84
営業外費用		
支払利息	55	54
その他	28	14
営業外費用合計	84	69
経常利益	1,966	1,682
特別損失		
固定資産除却損	148	50
ゴルフ会員権評価損	6	—
投資有価証券評価損	1	32
特別損失合計	156	82
税金等調整前四半期純利益	1,809	1,599
法人税、住民税及び事業税	644	498
法人税等調整額	12	86
法人税等合計	657	585
少数株主損益調整前四半期純利益	1,152	1,014
少数株主利益	12	2
四半期純利益	1,139	1,012

(四半期連結包括利益計算書)
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月 30 日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,152	1,014
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△257	△151
為替換算調整勘定	△18	12
その他の包括利益合計	△275	△138
四半期包括利益	876	876
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	866	872
少数株主に係る四半期包括利益	9	3

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,809	1,599
減価償却費	1,190	954
受取利息及び受取配当金	△60	△56
支払利息	55	54
売上債権の増減額 (△は増加)	33	△44
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△622	△1,821
仕入債務の増減額 (△は減少)	102	△1,147
その他	51	△99
小計	2,557	△560
利息及び配当金の受取額	60	56
利息の支払額	△55	△56
法人税等の支払額	△585	△719
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,977	△1,279
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△808	△937
投資有価証券の取得による支出	△5	△5
その他	△103	△54
投資活動によるキャッシュ・フロー	△917	△997
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	262	712
長期借入れによる収入	50	—
長期借入金の返済による支出	△995	△697
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△297	△296
少数株主への配当金の支払額	△3	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△984	△283
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	67	△2,557
現金及び現金同等物の期首残高	5,359	5,412
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,427	2,854

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	酸化チタン 関連事業	その他 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,283	7,403	17,687	—	17,687
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	246	246	(246)	—
計	10,283	7,649	17,933	(246)	17,687
セグメント利益	1,470	506	1,976	5	1,982

(注) 1. セグメント利益の調整額5百万円は、セグメント間取引消去額によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	酸化チタン 関連事業	その他 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,726	6,935	17,662	—	17,662
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	266	266	(266)	—
計	10,726	7,202	17,929	(266)	17,662
セグメント利益	1,395	269	1,664	3	1,668

(注) 1. セグメント利益の調整額3百万円は、セグメント間取引消去額によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。